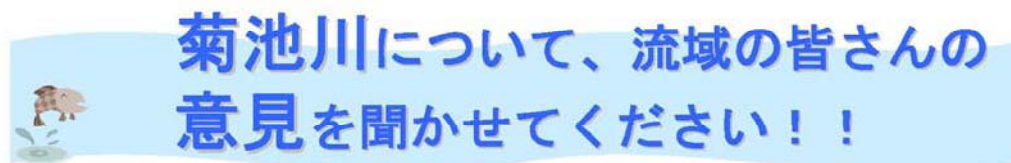


住民説明会等の開催状況及び主な意見報告

住民説明会 広報資料



菊池川河川事務所では、「菊池川のやすらぎと清流を未来へ」を川づくりのスローガンとして、菊池川の整備を行っていきます。菊池川の整備を進めるにあたって、皆様のご意見を聞かせてください。

皆様のご意見をより多くいただくため、菊池川流域の6つの会場（和水町、山鹿市、菊池市、玉名市、熊本市植木町）で住民説明会を開催します。多くの方のご来場を、お待ちしております。

菊池川の整備に関する住民説明会のご案内

会 場	場 所	日 時
玉名会場	玉名市民会館 第一会議室	3月24日（木）19時
和水会場	和水町中央公民館 大会議室	3月23日（水）19時
山鹿会場	山鹿市中央公民館 2F視聴覚室	3月25日（金）19時
菊池会場	菊池市役所本庁 3F大会議室	3月24日（木）19時
植木会場	植木公民館吉松分館 植木公民館田底分館	3月17日（木）19時半 3月22日（火）19時半



お問い合わせは…

国土交通省 菊池川河川事務所

調査・品質確保課

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿178

電話 0968-44-2171（代表）

FAX 0968-44-8061

	住民説明会 主な意見数	アンケート・意見箱 意見数
玉名会場	16	2
和水会場	15	17
和水区長会	21	
山鹿会場	16	5
山鹿区長会	15	
菊池会場	18	3
植木(吉松)会場	23	3
植木(田底)会場	11	

玉名会場(3月24日)



菊池川水系河川整備計画 住民説明会（玉名市）速報版

開催日時：平成23年3月24日19時～20時20分

開催場所：玉名市民会館

参加人数：15名

1. 河川事務所 挨拶
2. 整備計画内容説明
3. 質疑応答

【内容】

Q1：昔はきれいな水が流れ、現山公園からの有明海の風景も良い。堤防に桜の木を植えると景観にもよくきれいな川になるのでは。

A1：基本的には堤防を弱くするので堤防には植えられないが、実施できる方法もある。地域と考えて一緒にやってくことになる。

Q2：川を利用している人が休むベンチがあると良いが。

Q3：河川本来の機能を追求しながら計画と融合させた整備を考えて欲しい。川を地域のものとして捉えることができるような整備が良い。川に関心も出てくる。

A3：多自然川づくりなど、様々な取り組みを進めており、今後も続けてやっていきたい。

Q4：山の乱開発について、県と連携して防ぐことはできないか。

A4：県と合同で総合流域防災会議を行って情報共有している。伐採は届出が必要であり、皆伐が起こらないように振興局と連携して取り組んでいればと考えている。

Q5：砂浜復元のため河床を1m上げると聞いているが、潮はどの辺りまで来るのか。またヘドロのたまり方も変わるか。

A5：川全体を上げるわけではなく、上流で掘削した土砂のうち、砂だけを少し流している。部分的に1mくらいであれば問題ないと考え話したところ。定期的に測量を行っており、堆積の状況を見ながら実施していく。また、地域で堆積して心配なところがあれば言って欲しい。

Q6：河床を上げても、木葉川は流れるのか。

A6：寺田水門もあり大丈夫だと考えている。県の管理区間であるが、玉東町では災害後に河川の整備も行われている。

Q7：地区には加藤清正の柵、遺跡、記念碑がある。整備にあたり撤去されないか。残していきたい。

A7：遺跡は認識している。文化財保護の面からも市と協議して設計に反映させたい。

Q8：昔、松原公園があったので復元し残したい。

Q 9 : コンクリートではなく石垣で整備して欲しい。魚にも良い。

A 9 : 多自然川づくりを進めており、生態系に配慮しながら整備していく。

Q 1 0 : (ブリジストン工場の裏) 砂浜に四輪駆動車、モトクロスなどが入り騒音がうるさい。苦情を連絡したが、堤防の部分でなければ、何も言えないとの返事があった。規制できないか。

A 1 0 : 自由使用が原則だが、迷惑行為は良くないので、市と協議して使用ルールを考えることもできる。上流の白石堰のあたりでは、水上ボートで問題になっていたが、町と協議してルールを作っている。

Q 1 1 : 高瀬大橋から上流で堤防上の道路が狭い。大型車も通行しており、広げられないか。

A 1 1 : 堤防は河川のためのものであるが、利用上、兼用道路として、道路使用と兼用している。道幅を広げる場合は、道路管理者の判断になる。堤防を広げたのは堤防の安全のためである。道路が狭いことは認識しており、道路管理者と協議して対応したい。

Q 1 2 : シジミが取れなくなったのは、川が整備されて流れが速くなり、川底が削られて砂浜がなくなったためか。

A 1 2 : 高度成長期に工事用に全国的に川から砂を取ったため河床が下がった。河床が下がったことで潮が入りやすくなり、塩分濃度が上がり環境が変わったため、減った。

Q 1 3 : 防災、利用、環境、観光資源が共存する川づくりが良い。利用するのに、川に入りにくいところがある。また筑後川では堤防が広く、下りたところが広がっている。地域の観光資源になるような川にして欲しい。

A 1 3 : 資料館などのハコモノは批判を受けたが、川のことを伝える場所が必要であると考えている。堤防整備では、勾配を緩くして、使いやすく環境にも良い整備を取り入れているところもある。なお、筑後川との違いは、川の大きさが違うところが大きい。また、これまでの積み重ねも違うと思う。

Q 1 4 : グリーンベルトを利用しているが、水がたまりやすくなった。トイレや水道もなく整備してもらえないか。

A 1 4 : 自治体が占用を申請して整備している。利用上の整備は、国ではなく市が行っている。なお、高瀬の護岸は、市が申請しているところであるが、観覧席を整備しており、市と連携して工夫して整備することもできる。

Q 1 5 : 山鹿の3号線のところのような整備ができないか。

A 1 5 : 利用者ができるところは管理を行って欲しい。玉名では市が申請して、つくしの会が維持を行っており、ありがたく思っている。利用や歴史文化があり、市の玄関口としてふさわしい整備を進めたい。

Q 1 6 : 川の水量はある程度流す必要があるのではないか

A 1 6 : 目標となる流量を設定している。きれいな水を流すことと、地域が水を取って潤うことの兼ね合いがある。

以上

和水会場(3月23日) 区長会(3月16日)



菊池川水系河川整備計画 住民説明会（和水町）速報版

開催日時：平成23年3月23日19時～20時20分

開催場所：和水町中央公民館

参加人数：41名

1. 和水町役場 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q1：竈門大橋から江栗までの1kmくらいの区間でアシやカヤが生えており、川に下りるとタイヤなどの不法投棄がある。アシをどのように整備するか。

A1：注意喚起の看板を設置しているところである。草を刈ればゴミは減ると思われる。計画的に様子を見ながら伐採、掘削を進めていきたい。

菊池川では地域の生活のため堤防を開放しており、地区以外の人達も入ってきて、そのような人達がゴミを捨てている。警察に通報しており、事務所は巡視もする。地域で監視し合っ
て防止したい。ゴミの除去は予算をかけて行うが、その後は皆さんと協力してやりたい。

Q2：竈門大橋の左岸は地域（地権者）との折り合いが付かず整備されていない。草刈をやっているが、水門ができるので、やる必要は無いとの話もあったが、なかなかできない。地域（地権者）のこともあるが、早く整備をお願いしたい。

A2：公共事業であり、合意形成して用地を買収し進めるものであり、もう少し待つて欲しい。

Q3：菰田橋下流に下津原第一樋管があるが、本流まで土を掘っただけで整備されておらず、草も生えている。他のところではきれいに整備してあるが、ここは掘削があるので整備していないのか。

A3：疎通能力が小さく、樋管のところの大部分は土砂を取りたいと思っている。時期ははっきりいえないが。

Q4：以前より瀬が少なくなった。また、瀬の頭のところに大きな石を川幅一杯に並べることが行われている。並べた石で水位が30cmくらい上がって、たまったようになっている。水が流れるというより、たまって落ちているという状況である。昔は瀬に舟通しがあつて流していた。川は流すものである。また、汚いところに棲む魚が増えた。

A4：必要な瀬や淵を残しながら掘削や伐採を行っていきたい。瀬のところは状況をみて対応したい。

Q5：内田川と高速道路の間を鍋田の土で埋めているが、どのように整備するのか。

A5：水防資材の置き場として、土を盛ったりブロックを置いたりしている。広くスペースを開けて利用するように盛土しているところである。あと数年かかりそうだが、利用に当たっては地元で維持管理をお願いしたい。

Q6：埋めているところで現在、草を刈っているが、面積が広く、若い人も少なく地元だけでは手に負えない。石などが混ざり刈りにくい。地域外からの車による不法投棄の場ともなっている。

A6：地元で管理をお願いすることで進めている。利用の範囲を決めて、その範囲を管理してもらえればよく、全域ではない。利用に当たっては、協議をして、町を通じて占用の申請してもらうことになる。

Q7：菰田のあたりは、10年経ったら整備が終わるとの話であったが、残り50mはいつできるのか。全部できないと効果が無い。

A7：まだ、国の土地になっていないが、方向性は出ており、樋管も作って整備する。

Q8：竈門大橋のすぐ上のところで個人的に少しずつ草を刈っている。ゴルフ利用の規制の看板が最近になって立てられたが、どのような経緯か。

A8：ケガ防止のため、ゴルフ利用について注意喚起の看板を立てているところである。流域では利用は少ないが、守っていただいている。きれいに刈ってもらっていることは感謝している。

Q9：河川敷のゴルフ利用はやめさせて欲しい。田んぼなどに入って困る。

A9：ケガ防止のため、注意喚起していく。

（除草の考え方として）堤防上の除草は行っているが、高水敷までは予算上難しい。草が生えると、土砂がたまり、木も生えてくる。地域で気になるところを教えてもらいたい。また、菊池市では堤防除草に補助を出している。地域の状況に応じてやっていきたい。

Q10：学識者の意見は聞いているか。一般の素人の人が大量の文章の整備計画を理解するのは大変なので専門知識のある学識者から出た意見を地元に出して啓発して欲しい。

A10：第1回を行い、現地を見てもらっている。計画原案を渡しており、次回から意見をもらう。計画原案は、役場に置いてあったり、ホームページで公開しており、地域の方にも計画を見て欲しい。意見は、集約して、意見箱を設置しているところや事務所のホームページで出していく。

Q11：報道機関には伝えているか。

A11：意見を聞いていくことを伝えている。取り上げて記事にしている新聞もある。

Q 1 2 : 2 2 k 付近の和仁川合流のところの船着場の草刈をやっている。地元で行うようになった経緯を調べてもらうことになっているが、わからないか。

A 1 2 : 現在、調べているところである。

Q 1 3 : 高速道路の横、鍋田の土で埋めているところは、公園にしてもらえないか地域で考えている。工事のどの段階でお願いしたらよいか。

A 1 3 : 相談してもらった上で、申請して欲しい。

Q 1 4 : 1 8 k 2 0 0 付近、久米野川から 1 5 0 m のところに私有地があり、侵食が進んでいる。洪水というより、水上バイクが原因と思われる。規制はできないか。

A 1 4 : 基本的に自由使用である。ロマン館のところに、地元と一緒に利用のルールを作り、掲示している。さらに困るようであれば、考えていきたい。水上バイクで困っているところは個別に確認したい。

Q 1 5 : 今回の説明会のように定期的に経過報告をやってほしい。

A 1 5 : 何かあれば出張所に言ってきて欲しい。すぐに対応できないかもしれないが、言って欲しい。

以上

菊池川水系河川整備計画 住民説明会（和水町沿川区長）速報版

開催日時：平成23年3月16日19時～20時30分

開催場所：和水町中央公民館

参加人数：16名

1. 和水町役場 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q1：（前原地区）前原区では工事を進めてもらっているが計画の半分くらいの高さで終わっている。今後は工事が続行されるかどうか確認したい。

A1：洪水期間中は実施できないので期間は数ヶ月空く。今後も工事は実施していく。

Q2：（前原地区）現在は別のグラウンドが工事中であり3年間とか何も利用できない。現在、施工中の前原地区でサイクリングロードや近くの施設の方の車椅子が通れるような癒しロードのような整備はできないか。筑後川の久留米のような整備がありがたい。

Q3：（江栗地区）水害が多い地区であり、現在は排水機場など整備していただいております。しかし、江栗第5排水樋管などでは未だに内水で浸水している。

A3：まずは現在整備中のポンプに水路をつなげるように整備したらよいと考える。

Q4：（江栗地区）県道が狭いので、堤防を道路として利用できないか。

A4：堤防上の道路は本来、河川管理のもので一般の道路とは違う。兼用道路としているところもあり、必要性が大きければ、道路管理者と協議して対応することも考えられる。

Q5：（江栗地区）堤防に桜を植えたい。

A5：そのまま植えると堤防をいためる可能性があり、基本的には植樹できない。ただし、定規断面を確保した上で幅に余裕のあるところや山のところは可能性がある。岩野川の左岸側がそうである。

Q6：（竈門地区）高水敷きの地元として刈った後の草はその場で焼却してよいか。通報やすすのクレームがある。NPOなどならよいのか。

A6：高水敷の除草は、予算縮小のため現在実施しておらず、協力に感謝している。焼却にあたっては届けを出してもらうとよい。消防団と一緒にやっているところもある。

Q 7 : 川に 3 年ほど前に役場の人がヨシの種を蒔いたと言っていた。ワラの代わりに利用するためとのことであった。昔は生えていなかったの、何とかして欲しい。藪でボヤもあった。

Q 8 : (大江田地区) 整備は平成 24 年で終わるのか。

A 8 : 用地の問題があり、事業認定も視野に入れて進めている。未整備箇所にはカメラを設置して監視している。一番の優先と考えている。

Q 9 : 内田川の 500m くらいの区間を国管理にできないか。ヤナギが繁茂している。

Q 1 0 : 高速道路のすぐ下流のところは鍋田の土砂を盛っただけであり、早く整地して使えるようにして欲しい。

A 1 0 : 事務所で要望を聞いており承知している。

Q 1 1 : 堤防の除草に県と国の除草の時期がずれていて無駄であり、見た目も悪い。調整してやって欲しい。

A 1 1 : 河川は堤防の安全のため、道路は利用のためと目的が異なるためやむを得ないところもあるが、要望が他でも出ており、考えたい。

Q 1 2 : (長小田地区) 高速道路の上流の用水機場（排水機場の 300m 上流）は掘削するときに壊すのか。

A 1 2 : 個別に対応していく。

Q 1 3 : 白石堰の湛水域の利用では、事故が起きたりしている。

> 樹木伐開するのに問題はないか。

Q 1 4 : 樹木伐採は進めてもらってよい。

> 切らないほうが良い樹木はあるか。

Q 1 5 : どしどし伐採してもらいたい。

Q 1 6 : (大江田) 堤防の耐用年数はあるか。

A 1 6 : 土でできており、耐用年数というものは考えなくても良いと考える。ただし、古いものは中がわからないので対応が必要である。

Q 1 7 : 内藤橋の架け替えで橋脚の数が減るのは良いことか。

A 1 7 : 洪水の疎通が良くなる。

Q 1 8 : (焼米地区) 坂田川の合流点のところで下流側の堤防沿いに土砂が溜まって高くなっている。水の流れは細く 2 m くらい。ゴミも引掛かり、樋管の操作もしにくい。

Q 1 9 : (白石地区) 白石堰下流の整備はどうなっているか。(左岸の樋管のあたり) 以前には、堤防の仮整備ということで用地買収されなかった。地区からもどうなっているのかと言われている。現在の状況を教えてくれ。

A 1 9 : 調査してみる。

Q 2 0 : 和仁川合流にある公園整備をしてある箇所において地元で草刈しているが、なぜそうなったか経緯はわかるか。維持管理するのも歳をとって大変である。

A 2 0 : 事実関係を確認する。

Q 2 1 : (大屋地区) 早く堤防を埋めてもらいたい。掘削した土砂で埋めてもらえれば樋管も必要ない。

A 2 1 : 役場と協議している段階である。

以上

山鹿会場(3月25日) 区長会(3月18日)



菊池川水系河川整備計画 住民説明会（山鹿市）速報版

開催日時：平成23年3月25日19時～20時30分

開催場所：山鹿市中央公民館

参加人数：5名

1. 山鹿市役所 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

Q1：河川敷の利用は賛成だが、あえて木を植えたり、ベンチを置いたりするのは気になる。

A1：密集して流れの阻害になる樹木は伐採するが、河川のいろいろな利用があり、洪水の阻害にならず、日陰ができる程度の木はあっても良いと考え、もともと、その場にあった木を植え替えて使っている。ベンチは置いていないはずであり、利用者が持ち込んだものと思われる。植樹など基準に基づいて整備している。

Q2：木を植えて良いところはどんなところか。

A2：堤防の断面に余裕があるところでは、植樹をやっている。根締めの効果よりは、根に沿って水みちができて堤防が弱くなると考えている。植樹を行うときは、河川の管理者と相談して行って欲しい。

Q3：高水敷を整備してもらってありがたいが、年配の人からトイレが欲しいとの要望があった。また、昔、千本桜構想もあり、川を使った観光を行うようにしていきたい。菊池川温泉郷として流域一体で取り組んでいる。歴史的なことに倣って川のぼりも考えている。さらに玉名から山鹿までをトレッキングすることをやろうとしたが、堤防が途切れているところがあり整備して欲しい。

A3：トイレの要望は多くの方から伺っている。国では対応が難しいが市のほうに伝えている。桜は植えられるところを相談して欲しい。川のぼりは、具体的な場所を相談してほしい。堤防の整備は、山付など、もともと必要ないところはやらないが、必要なところは整備計画の中でやっていく。

Q4：菜の花は今の時期、あると良いが。長い区間あったほうが良い。

Q5：ロマン館の下流あたりから山鹿大堰の下あたりまで、川のぼりができるとよい。

A5：エンジン付きのボートは規制があるが、エンジンの無いものは自由に使ってもらってよい。なお、イベントのようにしてやる場合は連絡し相談して欲しい。また、部分的に掘削することも相談してやりたい。

Q6：上流側が整備された後、流れが速くなって水に浸かるようになった。

A6：上下流の関係をみながら、影響が下のほうに行かないように、下流から整備している。

Q 7 : 高水敷に水が浸かると泥などがたまる。整備した後の管理はどうするか。

A 7 : 住民団体、育てネットで維持管理をやってもらっている。小さな洪水のゴミは地元で管理をお願いしたい。大きな洪水のときには国が協力する。

Q 8 : 地区にグラウンドを整備してもらったが、水に浸かると砂が流される。要望すれば砂を入れてもらえるか。

A 8 : 個別に考えて対応したい。

Q 9 : 地域住民や漁協の要望を聞いてもらい、うまく進めてもらっている。工事のときにも近くの住民の声を聞いてもらっている。ありがたい。

Q 1 0 : 女性はトイレがないと出歩きにくい。要望があるので試行的にでも整備して欲しい。

A 1 0 : トイレの要望は聞いており、市のほうに伝えて、お願いしている。声を上げて行って欲しい。

Q 1 1 : 通行人が橋からゴミを投げ込んでいる。洪水の時には大量に流れてくる。堤防のところだけでなく、川の中をきれいにすることも考えて欲しい。巡視する人間を雇ってはどうか。

A 1 1 : 岩野川だけでなく全体的にゴミが捨てられている。対処療法的にゴミを拾うよりも、抜本的な対策として、自然を大切にしてゴミを捨てないように啓発することが重要と考え、看板を立てたりして取り組んでいる。

Q 1 2 : 子供にとって川は危険なところとされている。川に親しむために、試行的にアドバイザーを導入してはどうか。住民の理解も深まる。

A 1 2 : インストラクターなどにより川の使い方や遊び方を教える取り組みを行っており、続けていきたい。また、川の中の水質調査も子供たちと一緒にやっており、川の大切さを感じてもらっていると思う。

Q 1 3 : 川の中にゴミが大量にある現実になんとか対処できないか。

A 1 3 : 草が伸びて視線の陰になっているところがあるとゴミが捨てられている。整備計画で刈っていくので、川を利用し川をいつも見ることで監視していくようにしていきたい。

Q 1 3 : 権限のあるレンジャーみたいな仕組みが必要ではないか。

A 1 3 : 不法投棄者が確認できる場合は本人に連絡したり、タイヤなどは警察に通報し連携して対応している。

Q 1 4 : 川のぼりのために掘削するのは大変ではないか。堰を使って水をためてできないか。

Q 1 5 : 高水敷は燃やしてよいのか。

A 1 5 : 届出をしたうえで、消防と一緒にやってもらいたい。

Q 1 6 : 地域の歴史を踏まえて、菊池川を開放している。ゴミの撤去には費用がかかるので、国は巡視を行うが、地域の皆さんと一緒に監視し、取り組んでいきたい。

以上

菊池川水系河川整備計画 住民説明会（山鹿市沿川区長）速報版

開催日時：平成23年3月18日19時～20時10分

開催場所：山鹿市中央公民会

参加人数：26名

1. 山鹿市役所 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q1：岩野川合流点の30k下流の山のてこぼがあるところにポンプを置いて水を引いている。くぼんだところにあるため、水がよどんで泥がたまり、1時間くらいで水が引けなくなる。

A1：最後に図面で確認させて下さい。

Q2：25k付近（椿井地区）の堤防はいつ完成するか。

A2：昨年、県と調整し小堤を作っている。今後、県の方で道路の嵩上げを実施中であり、その後に堤防をすりつける計画にしている。

Q3：竹林は伐採しても1年で生えてきて、2，3年で元どおりになる。毎年切らないと意味がない。

また、山鹿南部大橋付近の伐採はしないのか。

A3：掘削するときに深く掘って生えにくくするようにする。様子を見ながら対応したい。山鹿南部大橋付近は実施する予定ではない。

Q4：中川橋の駐車場のところに遊歩道が整備しているが、数年で草が覆ってしまっている。管理できないのか。

A4：山鹿で整備している箇所では育てネット（NPO？）の地元の人達が自分たちで管理するようになっている。国だけで管理することは難しいので、地元の人達と一緒にやっていきたい。

Q5：使う人達が管理すべきだが、草刈機などの道具を使えない人が多い。近くの人でも使わない人は管理しない。

A5：山鹿で整備している箇所では手作業などを含め、グランドゴルフやキッズサッカーなど使用させる方が対応してもらっている。今後も広げていきたい。

Q6：中川橋の周辺では、河幅が狭くなっている。野焼きをすると灰が飛んで苦情が出る。ヨシが生えないような整備はするか。

A6：高水敷の除草はしていない。地元の人がやっている。ヨシが生えないように整備する時は根から掘って整備をしていきたい。

Q7：合志川の芦原橋付近では重機が入って整備しているが、こちらでもできないか。

A7：当該箇所は予算がついてやつのことでヨシだけを除去している。掘削まではできていない。土砂がたまりやすいところを教えてください。根ごと除去するようにしたい。

Q8：小柳地区の定期総会で説明し意見をまとめたい。意見、要望の出し方はどうすればよいか。

A8：インターネットや意見箱を設置するので、自由に出してもらってよい。意見箱は、来月 15 日くらいまでに設置しておくのでよろしくお願いいたします。

Q9：意見、要望の結果は報告するか。

A9：個別の回答ではなく、意見を総括して回答する。事務所HP、意見箱のあるところで提示を考えている。(本庁、公民館ロビー、総合支所)

Q10：千田川は対象となるか。

A11：県が管理している河川であり対象とならない。今のところ県の計画は、本川上流のみ聞いている。

Q11：水に親しみやすくするため、堤防から河川に下りる道（坂路）はお願いできるか。

A11：要望があれば個別に対応したい。

Q12：草を刈ったままにしてはいけないか。

A12：地元の要望を聞いて対応したい。なお、除草の時期は道路管理者と調整してうまくやっ
ていきたい。

Q13：分田橋あたりで被覆の試験施工をやっているが、適用できないか。

A13：成長しにくい芝の試験施工をしており、成功すれば広げていきたい。

Q14：原案パンフレットには環境、歴史・文化について大きく記載してあるが、今回話しを聞くと出来ないことが多く感じられる。どのように力を入れるのか。個人のボランティアでは限界があり、経費もかかる。補助はできないか。

A15：すぐに対応できないが、いろんな仕組みを考えていきたい。

以上

菊池会場(3月24日)



菊池川水系河川整備計画 住民説明会（菊池市）速報版

日時：平成 23 年 3 月 24 日（木）19:00～20:30

場所：菊池市役所 3F 大会議室

参加住民：12 名

1. 河川事務所 挨拶
2. 熊本県 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q 1：東北大震災のような地震が来ても竜門ダムは大丈夫か？

A 1：（国）直轄ダムは構造令に則り築造されている。これは過去からの地震などの経験を基に基準を差抱けている。今回の地震でもダム付近での揺れは震度 6 強を観測したが、直轄ダムは 2 つのダムで道路に少しクラックが入ったくらいで重大な支障は生じていない。

Q 2：ダム下流の管理は国と県でどのような分担になっているか？

Q 2：（国）眼鏡橋より上流からダム直下までが県管理区間で、それより上流が直轄管理区間である。

Q 3：県はダム下流で管理用道路を作らないのか？

A 3：（県）ダムがあるため下流の流下能力は満足しており新たに施設を整備する必要はない。

Q 4：梅雨時は一定の雨が降るとダムからの放流があるが、今の道路では放流のパトロール車との離合が困難であり、いつもひやひやしている。それで道路整備をお願いしたい。

Q 5：河道内の雑木林を切ってほしいと区内の住民から意見がある。後で正式に要望したい。

Q 6：今回、国と県双方で整備計画の説明があったが両者の連携はどのようなになっているのか？

A 6：（県）上下流の流下能力バランスを取りながら、県は下流の国の流量と整合が取れるように整備を進めている。

Q 7 : 県区間の中州にある清流公園はいつ完成するのか？

A 7 : (県) 平成 30 年までに完成予定である。

Q 8 : 木庭堰の改築にあたって、管理を行う我々が堰に降りやすいように階段整備を要望したが反映されていないようである。できる限り住民の要望は反映してほしい。

A 8 : (県) 堰は農政の担当であるが要望は伝えるようにする。住民の要望は出来るかぎり応えたい。

Q 9 : 竜門ダムで要望を出しているが県も予算が厳しいということで聞いてもらえず不満を持っている。ななつぼ川合流の水があたる箇所を対処してもらいたい。竜門ダムの建設には、川辺川ダムと異なり住民は大変協力的だったので要望は出来る限り聞いてほしい。

A 9 : (県) 住民の要望には出来る限り対応したい。ただ、県の土木の総予算が 7 0 0 億でそのうち河川は 1 0 0 億でこれを 11 の事務所で分担するため大変厳しい。ただしダム建設にあたっては協力していただいているので市と協力して対応したい。

Q 1 0 : 過去の間緯からすると竜門ダムは選択取水方式を取っているが川辺は 100 億円をかけて清水バイパスを予定していたそうである。この分、要望を聞いてほしい。

Q 1 1 : 整備計画の目標規模はなぜ既往 2 位なのか？今回の地震の例もあるので出来る限り安全度を上げて 1 位に対応してほしい。

A 1 1 : (国) 整備計画の期間は 30 年であり、これに対応できるレベルを目標規模としている。堤防は 1 / 100 規模で作り、河道内の掘削を部分的にしか行わないため 1 / 30 規模となっている。段階的に安全度を上げていきたい。

Q 1 2 : 県区間は木庭橋付近を残し後は完成か？

A 1 2 : (県) 今村橋付近の整備も残っている。堤防は今年整備し掘削を進めていく予定である。順次進めていく予定である。

Q 1 3 : 堤防管理 (除草) は我々の持ち出しが多い。

A 1 3 : (県) 堤防の除草は市に依頼をしてやっている。

Q 1 4 : 現在除草は 6 月と 9 月にやっているが 9 月は草が伸びて大変である。できれば夏にやってほしい。

Q 1 5 : 国の区間は国が除草をしているが、県の区間は少しの油代でさせようとする、これから整備により堤防が伸びることで除草をする範囲が増え、今後ますます大変にな

る。国のように大型機械を貸し出してもらえないか？

A 1 6 : (県) 今後堤防の除草も維持管理費として予算化する予定である。できるだけ住民の負担軽減になるようにしたい。

Q 1 7 : 現在、固定堰を可動化しているが、昔に比べホタルなどが減ったようである。一部固定のままで残せないか？

A 1 7 : (国) 流下能力が満足していれば固定堰はそのまま残すようにしている。状況に応じ対応する。

Q 1 8 : 河口の大浜は河床が低下しヘドロが溜まるということで砂を入れるようにすると聞いたが流下能力は大丈夫か？また、堰上流には洪水時に土砂が堆積している。私の家の近くの堰も土砂が堆積し7年間は撤去されていない。一方、河川の土砂は海のものとなり塩分がないため高く売れる。そこで堰に堆積した土砂について、業者に売るなり、大浜地区に補給する等の活用法を検討してほしい。

A 1 8 : (国) 大浜地区は昔より河床が低下しシジミなどが捕れなくなっている。この要因として以前行われた砂利採取という意見も聞かれる。また、現在も堰の堆積土砂や改修で生じた土砂は築堤に使うようにしている。ただし砂分の場合は築堤に使えないので大浜地区の置き砂として使っている。なお、下流の土砂は過去から見ると500万m³無くなっているのに対し、人工的または自然の要因で補給されるのは年間1万m³入れたとしても10年で10万m³程度である。部分的に砂州が出来ればと思っている程度である。したがって下流に置き砂をしても流下能力が不足するということはない。

発生土砂については今後も有効利用を図りたい。

以上

植木(吉松)会場(3月17日) (田底)会場(3月22日)



菊池川水系河川整備計画 住民説明会（熊本市植木町吉松）速報版

開催日時：平成23年3月17日19時30分～20時45分

開催場所：熊本市植木町吉松公民館

参加人数：15名

1. 植木総合支所 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q1：平島堰の改築はどんなことをするのか。抜本的にしてもらいたい。

A1：現在は固定堰のため、洪水の疎通能力が低い。改築というのは、堰を撤去して、倒れるように動く構造のものを作る。

Q2：宝田地区35戸くらいの家が低いところにあり抜本的な対策が必要である。（平井地区は、水田は低い、家は高いところにある）

A2：現在、利水者との調整中なので、今後進めていきたい。

Q3：佐野橋から平井橋の間で樋管のランプが点滅しているのは、河川水位が高くなり危なくなったからか。

A3：合志川の洪水が逆流しないように、内外水位を見て水門を閉じているときに点滅している。危険だから付いているものではない。その時の河川水位は高い時かもしれない。

Q4：平島堰周辺の農地は良い土地でメロンやスイカの産地になっている。堰の影響で押水により水が吐けない遊水地帯である。生産にも影響があり、平島堰の改築は30年の中でも早急に改築してもらいたい。

Q5：伊知坊橋から平井橋で道幅が狭く離合しにくい。事故が起きたりしており、一方通行などの対応が必要である。

A5：堤防は地域の安全を確認するためであり道路が目的ではない。しかし、兼用道路（市道など）となっている箇所は広くしている。必要があれば協議して兼用することも考えていく。なお、管理上の必要のため、結果的に離合箇所も設けているところもある。

Q6：佐野橋付近の中洲の堆積土砂を、どちらかの護岸の方に寄せて河川公園みたいに整備できないか。現状は環境上も良くなく何も棲めない。

Q 7 : 平島堰のところは測量して整備して欲しい。

A 7 : 計画を進めているところである。

Q 8 : 佐野橋下流の土羽の堤防になっている、宝田地区のところで土砂がたまっている。早く取
って欲しいが、いつ頃やるのか。

A 8 : 今年度実施している箇所は予備費という緊急的な予算で施工している。予算も少なくなっ
ているが、できるところから行いたい。

Q 9 : 山鹿で川がきれいに整備されており、予算がまわってこないのではないかと。また、人事異
動の際に要望は十分に引き継がれているか。堆積土砂の撤去は 30 年来の要望であり、早く進
めて欲しい。

A 9 : 山鹿では市街地の対策として掘削が必要であり実施している治水対策も兼ねている。しっ
かり利用も考え芝を張ったりしている。川の整備は下流から行うことが基本であり、上流を
先行すると下流側で被害が発生することもある。その場合は人災であるため、バランス良く
整備をしている。整備計画も一連で整備することで昭和 57 年洪水を流すようにする。また、
引き継ぎはきちんとしているが今後もしっかり対応していく

Q 10 : 佐野橋から伊知坊橋の間で、平島堰、山城堰はネックになっていて、無くなれば洪水の
流れは良くなる。

Q 11 : 新聞で掲載されていたが、玉名で自然再生として河床が下がっていることもあり、川を
埋めたりされている。中洲の土砂を掘削して使ったらよいのでは。

A 11 : 特に川が狭い中流の和水町の整備では、掘削した土砂で堤防を作ったり、川に砂を置い
たりして使っている。合志川でも考えたい。

Q 12 : 昭和 57 年の洪水では、合志川上流ではどのくらいの雨が降ったのか。

A 12 : 調べておきます。※後調査、合志川平真城観測所において、総雨量（2 日）368mm

Q 13 : 宝田地区のところでわずかだが、洪水が堤防を越えたことがある。工場など開発が進ん
で水の流れ込みが早くなったようである。川の情報や避難の判断は地元で対応するのか。

A 13 : 県を通じて避難勧告などが出される。川の情報や事務所ホームページや携帯電話で見
ることができる。

Q 14 : 樋管操作は自動か。

A 14 : 消防団など操作を委託し、人力で行っている。

Q 15 : 舟島橋の架け替えはいつになるか。予算はどちらか。国が決めるのか市が決めるのか。

A 15 : 市道の橋であり熊本市の管理となるため、明確にいけないが、市の動きと合わせて進め
ていく。内藤橋も同様に行っている。上下流の堤防はできており、市とタイミングを合わ

せたい。予算は折半であり、どちらが先とは決めていない。

Q 1 6 : 舟島橋が出っ張りは邪魔になり、土砂を取り除いてもすぐに堆積する。平井橋下流で昨年された場所でも、今年は堆積している。国のほうでリードして早急に架替と土砂撤去をしてもらいたい。

Q 1 7 : 堤防の上は道路として使えないか。また、昔あった町道がなくなっている。

A 1 7 : 昔からの使い勝手を変えないように、使ってもらっている。公用道路でないため、自己責任で使ってもらうことになる。

Q 1 8 : 平井橋から舟島橋の間の掘削はどういう掘削の仕方をするのか。

A 1 8 : 今年、整備しているのはきれいに整地するためであり、計画の掘削ではさらに深く掘削する。

Q 1 9 : 伊知坊橋から平井橋の間は、ヨシがかなり生えており、洪水の邪魔になって溢れるのではないか。また、切ってもすぐに生えてくるため、二段にして掘削すると生えにくくなるのではないか。またヨシが茂ると背丈以上になり防犯上も良くないので、ヨシだけでも切ってほしい。洪水が心配なので早急にしてもらいたい。

Q 2 0 : とにかく中洲は早く掘削して欲しい。本当にあぶない。

Q 2 1 : 刈り草は野焼きできない。ビニールハウスが近くにありクレームが出る。

Q 2 2 : 洪水が来ないためか、兩岸の土砂が高くなってきた。

Q 2 3 : 泗水のほうでは、掘削した河岸に石を置いて河川公園のように整備しており、同じように整備して欲しい。

以上

菊池川水系河川整備計画 住民説明会（熊本市植木町田底）速報版

開催日時：平成23年3月22日19時30分～20時40分

開催場所：植木町田底公民館

参加人数：30名

1. 植木総合支所 挨拶
2. 河川事務所 挨拶
3. 整備計画内容説明
4. 質疑応答

【内容】

Q1：南島堰の上流で滞留している。竜頭樋管からの排水も逆流して水質がよくない。上流のほうに水を落として還流させて流れるようにできないか。遠賀川でやっているが。

Q2：山城堰も固定堰であり、改築などの計画はどうなっているか。また、高齢化のため操作が危険であり、国交省で指導などできないか。

A2：整備計画 1/30 の洪水では流れるので対象になっていない。基本方針 1/100 では危険になるのでいずれは対象になると考えている。堰を統廃合して整備することも考えられる。操作については、利用する上での機能向上なので、施設の管理者が対応することになる。

Q3：温泉があり、お客が堤防に上り下りする階段が少なく増やして欲しい。トイレもあるといい。

A3：現場を確認して、できるところから対応したい。トイレは国ではなく市で対応することになる。

Q4：汚染が進み、浄化の努力をしているが、なかなか改善しない。国の方で上流から対策をやって欲しい。

A4：合志川は、菊池川水系のなかでは良くない方であるが、水質の環境基準を超えておらず、匂いも無く、それほど悪い状況ではない。上流でし尿対策を行ってあると聞いている。

Q5：山城堰の改築がこの30年間で整備することが難しいのは、これまでの説明でなんとなくわかる。地域にも話しておきたい。

Q6：分田堰の上下流で東側の対岸は200mくらいが整備されている。もう片方もきれいに整備できないか。岩が出ていてやりにくいのか。

A6：除草は堤防の部分だけであり、高水敷は対象になっておらず刈っていない。地元で刈ってもらうのは非常に助かっている。（焼却は少しずつやってもらうとよいのでは。）分田堰のところは、予備費がなんとか付いて、表面のヨシや木を切っただけである。合志川では地元で協力してもらい、高水敷を燃やしてもらっている。今後も消防団と協力してほしい。

Q7：8月末の河川清掃の行事のとき、ヨシが生えてジャングルみたいになっており、参加者が堤防にいてゴミを取ることができない。草を刈った状態で行えるような計画をお願いしたい。

A7：堤防のところは予算を確保したり、成長しにくい芝にしたりして対応したい。高水敷は地域の方と一緒にやっていきたい。高水敷のヨシは土砂を堆積させることにもなるので、伐採が必要なところや堆積が進んでいるところを教えてもらい、対応したい。

Q8：舟島橋から平井橋にかけて、堤防上の離合場所を増やして欲しい。

A8：現場をみて必要性を確認して対応したい。兼用道路の扱いもあり、対応の仕方を考えたい。

Q9：30年の計画はいつから始めるのか。予算の問題もあり、30年ではやりきれないのでは。また、掘削してもたまってくる。できるところから、やってもらいたい。

A9：これからであるが、着工しているものもあり、概ね30年としている。現在は特に危ない山鹿の市街地の対策として菊池川本川の河幅を広げることを優先している。原則は下流からの整備であるが、局所的に危ないところは下流への影響をみて対応することもある。掘削は事業として行うものもあるが、堆積が進んだところは除去する必要があり維持管理の掘削も合わせて行っていく。

A10：先の震災があってから、防災を強調している感がある。

A10：防災は生活の根幹であり、昔からずっと必要性は変わらない。

Q11：迫間川は通るたび、いつもきれいに刈ってある。また高額ではないが草刈に国から補助が出ているとの話を聞く。

A11：除草は国から菊池市に委託し、さらに市から地元に委託して対応している。また旧七城町ではコスモス祭りなどに合わせて市が対応している。地域活性のための整備と思われる。国からの委託は、堤防部分のみである。また、補助がでるとすれば、市からであろう。

以 上

アンケート、意見箱の意見

菊池川水系河川整備計画【原案】 アンケート、意見箱

募集期間：平成23年3月14日～平成23年4月14日

閲覧場所：玉名市役所(2箇所)、和水町役場(4箇所)、山鹿市役所(6箇所)、
菊池市役所(5箇所)、熊本市役所植木総合支所(1箇所)、国土交通省 等

(内 容)

【玉名市】

○私は、繁根木で生れ育った 70 才代の者ですが、一時目をそらして見るのが、悲しかったニシキ橋あたりの川がきれいになったことを、うれしく思っています。

ただ、そこに、コイがおよいでいますが、水量がなく横およぎしたり、背ビレを出しているのを見ると、かわいそうでなりません。せつくなら、水のふかいところにうつすか、たっぷりのふかさにして下さい。

○①砂浜にする事 ②夏は泳げる様に

【和水町】

○22.2km 右岸公園(舟着場)

地元が草刈するようになったいきさつを知りたい。

水質汚染の清めるため早目の工事着手を。

○南関町の産廃場は菊池川への支流、奔流を汚染します。県、国は福島原発事故のよう、安全神話はありません。

○朝から犬の散歩をして河川敷に行くと水上にアワブクがいっぱい流れているのですが、どこから流れ出しているのかごぞんじですか。流してもいいのですか。調べてください。

○98 年 3 月建設、下津原第一排水樋管。本流まで河道を設けること、70mくらい埋まって汚いし、流れていない。

○瀬の頭に巨石を並べて水位が高まっている。西牧から江栗まで7つくらいある。川は流れず澱んでいる。本来自然に流れ、流すものである。

○菰田橋下流や江栗上流、大屋下流(椿井上)などの中央の島を除去して豊かな速い流れを保つようにしてほしい。

○堤防工事の優先順位はどうやって決めているのですか。

○竈門橋左岸の土地の買収は終わっておりますが、今だに完成しておりません。すでに竹林になっております。草刈機では手におえません。早急に地権者と話し合いをしてお願いします。

○下津原東区、堤防を早期着工ぜひお願いします。雨のたびに、住民皆とても不安です。

○内藤橋から白石ゼキまでの竹の処理、土砂の処理が必要です。

○菰田橋の樋門の内水、排水の件、動力線を引いてもらい水中ポンプの設置をお願い致します。

○大江田地区の堤防工事の完成と内藤橋の完成年度をお知らせください。

○河川の改修工事等により従来生存していた魚などの生物の住み場が失われていると言われます。環境に優しい、自然に優しい改修工事をお願いしたい。

○環境にやさしい河川を増やしてほしいと思います。

○河川敷のスポーツ施設が増えれば利用したいと思います。

○できるだけお金を使わない方向で。樹木の伐採は定期的をお願いします。

○菰田橋の架替の早期実現へ。堤防整備の早期整備。

【山鹿市】

○①堤防より水が流れ出て、雨のあとは 10 日以上くらい晴れていても長靴での散歩となります。又、田への流れ込みもあり稲刈時等田の乾きが悪くなるため、未舗装の農道を溝断に溝を干し用水路へ水を導いている。どうして多くの水が流れ出るのか不思議ですし、困っています。一ヶ所は昨年 12 月に市建設課へお願いし嵩上げの舗装をして頂いた。

②堤防への上がり取付け道路の舗装状況が悪く合剤で悪い箇所を応急処置しても 1 週間も維持出来ない。一部を前面舗装をする必要があります。(用は 2 つとも裏に説明します)

○宗方北区の区長をしております。いつも大変、お世話になっております。約 3~4 年前に、大根やその他の野菜又、色々な物を洗う、洗い場の前が、土、砂、草、等で、山のように、つかえていましたので、所長の方に書面で、この土、砂、草、等を取り、元の洗い場をとお願いしておりましたが、今立派に取り下げていただいて立派な洗い場に戻りまして有難うございました。

宗方区、新町、中史通、昭和町、今は市中心街まで、1000 軒をこす人たちが生活していますが、菊池川増水のときは、とくに夜等は、心配でなりません。平成 2 年の増水のときは菊池川の堤防もほぼ満ぱいとなり、吉田川の新町公民館の上の堤防は、私が見に行ったときは、堤防と水の高さは、水平になっていまして、水の流れは、完全に止まっていました。吉田川の 3 号線の上流熊入地区と北町、松阪町の両側にみずがあふれ出し、壊滅的な被害を与えましたが、今吉田川の方は、コンクリートでかさ上げされましたが、今又あの時も少しでも多くの雨が降るならばと心配でなりません。今私たちが一番願うの事は、山鹿から下流の水の流れを良くして、増水の時、水の高さが、1cm でも下がる様にさせていただく事です。川幅のせまい所、土砂がつかえて川底が上がっている所、雑木、竹、草等、多々あ

と思いますがどうか川の流れが少しでも早く、海の方へと流れていきます様に、工事を進めていただくなれば、多くの人達が安心して暮らせる事と思います。
色々と今後お世話になります。

○①川で遊ぶ、②魚たちの分布(豊富な生態)、③そこに住む鳥たちの分布(豊富な生態)
④ ②③の保護、⑤美しい泳げるような川、⑥水辺の整理、紅葉のある吉田川べり、水鳥の遊ぶ吉田川、⑦ホタル育て人の育成、⑧川遊び達人の育成、など川に親しむことも進めて欲しいです

○菊池川の水位が心配です。山鹿広報に菊池川の情報で水位を載せてください。また、ごみがまだ捨てられています。頑張ってください。

○小さい頃遊んでもらった生物を大切にしてほしい。環境もタナゴ(シビンチョ)ドンガッチョ子供達が遊べる川作りを共存させてほしい。日本一の春の小川風景を。

【菊池市】

○菊池市中野瀬区の〇〇様の水田の下の河川に竹が多くなり、増水の時には、反対側があぶなくなるので切ってほしいむねの要望がありましたのでぜひお願いします。

○このダムでは、ボートレースはあるのですが、隣の県の日田市の松原ダムでは、5月にウェイクボードの大会とかありますがここのダムでも是非ウェイクボードができるようになれば若い人たちが、それを目当てとした人たち、観光として、レジャーのひとつとして体験できる施設があればいいと思いました。私も海にレジャー程度ですべりに行ったりしていましたが、海水なので体がべたべたなり帰りはお風呂が必要ですが川水なのでさらっとしていて気持ち良く水あびできていいと思いました。

○ダムが出来下流域の方々は田や畑の水の利用がよくなっていますが、地元の上流に住む住民は、とても少量の水をなんとかして田や畑に利用しています。なんで地元の住民は、たくさんの水を目前にして利用が困難なのでしょう。結局、取り残された集落には、恩恵がないと思います。上流に住む人にも水をください。

【熊本市植木町】

○合志川の水質改善に向けての取組

○河川の内側への整備。人が近づけない(水辺へ)。高水敷等の有効な利用計画、伐採。

○危険と思われる箇所、合志川左岸 平島橋の上下流、合志川左岸 伊知坊橋の下流山城堰までの間 は、危ないと思われます。